

ベトナム現地情報（2023.02.21）

ジャパン証券 北山亨

第23回「ベトナムのカシューナッツ」

ベトナムでは様々な種が食べられている。ヒマワリ、スイカ、カボチャ、そして落花生などのナッツ類もそうだ。カフェでお茶している時や、結婚式の待ち時間にヒマワリの種を食べて時間を潰している光景をよく目にする。

世界一のカシューナッツ輸出国

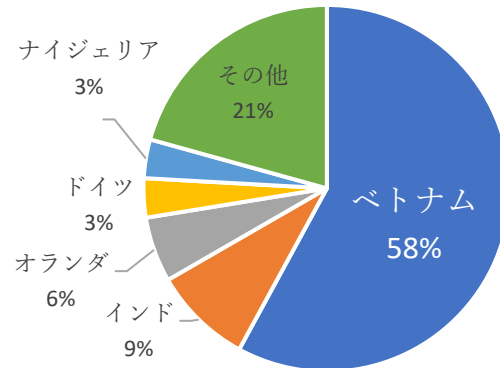
ベトナムで世界に冠たる種（ナッツ）と言え、カシューナッツ（ベトナム語：hạt điều）であろう。ベトナムは右のチャートを見て分かるように輸出金額で世界トップとなっている。カシューナッツはミネラルを豊富に含んでおり、健康意識の高まりから注目度も高い。今回はそんなベトナムを代表する農産物であるカシューナッツを見ていきたい。

まず初めにカシューナッツだが、加工される前は種子で、最初は右の写真のようにカシューアップルという果実にくっついて生っている。主に熱帯地域で生産されているが、もともとはブラジル原産であり、16世紀にポルトガル人によってインド、東アフリカ、東南アジア地域へと広まった。このように歴史的な背景もあり、現在も生産国の上位はこれらの地域が占めている。



ある昼休みの風景。沿道では茶を飲みながら、ヒマワリの種を齧ることもしばしば。JSI 撮影

カシューナッツの輸出割合（2021年）



出所：World Integrated Trade Solution



写真出所：NAFOODS GROUP JSC

ベトナムは、生産国の中でも輸出量で世界首位だ。海外への輸出を本格化させたのは1990年以降で、同年286トンだった輸出量は、2022年には51万9,782トンへと大きな成長を遂げた（2007年には輸出量で当時世界首位だったインドを抜いた）。

また硬い殻に包まれた原料の生カシューナッツの加工に力を入れており、ベトナムはカシューナッツの輸入量でも世界首位となっている。多くの手作業による工程を必要とする加工作業には、手先の器用なベトナム人の力が発揮されており、安い人件費は価格競争力を支えている。これらの点は、前回の「ベトナムのコーヒー」にも共通する点であり、ともに90年以降の産業の発展を支えてきたと思われる。

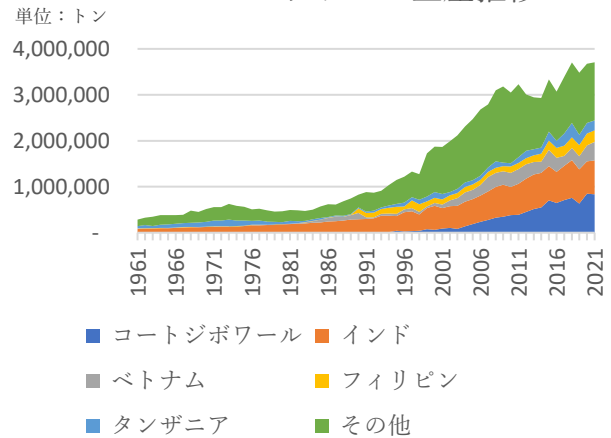
例えば日本を例に挙げて見てみる。財務省の貿易統計によると、1996年当時ベトナム産カシューナッツの輸出シェアは全体の3%程度だった。しかしおよそ四半世紀が経って、5割近くまでシェアを伸ばしている。

22年は10年ぶりの落ち込み

ベトナム税関総局の統計によると、2022年の輸出量は前年比10.3%減の51万9,782トン、輸出額は前年比15.1%減の30億8,000万米ドルとなった。年間輸出目標の32億米ドルに届かず、およそ10年間続いた成長にストップがかかった。

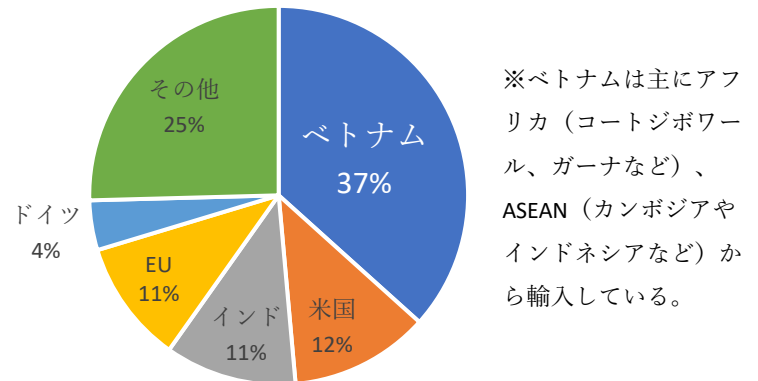
これは原料カシューナッツの価格上昇と輸出カシューナッツの価格低下、またインフレを受けて嗜好品であるカシューナッツの購入を抑える動きが影響としたとみられる。

カシューナッツの生産推移



出所：FAO(国連食糧農業機関)

カシューナッツの輸入割合（2021年）



※ベトナムは主にアフリカ（コートジボワール、ガーナなど）、ASEAN（カンボジアやインドネシアなど）から輸入している。

出所：World Integrated Trade Solution

ベトナム産カシューナッツの日本への輸出推移



出所：財務省貿易統計

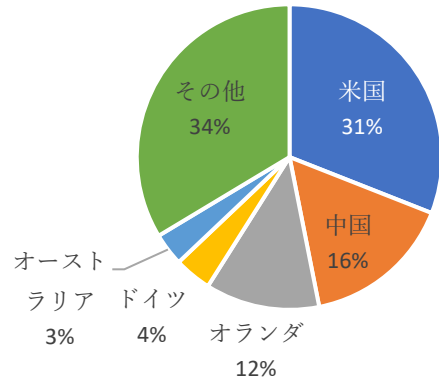
ベトナム商工省は、消費需要が低迷しており、価格の上昇は難しいことから 2023 年も厳しい年になると予想。しかしベトナムカシューナッツ協会は 2023 年の輸出目標を前年の輸出額から 0.6%増加の 31 億ドルに設定している。

ベトナムが諸外国と結ぶ自由貿易協定 (FTA) も輸出促進の一つのカギとなると思われる。例えば、主要な輸出先である EU とは EVFTA を結んでおり、ベトナム産カシューナッツは 2020 年 8 月から非関税の恩恵を受けている。EU にとってベトナムは最大のカシューナッツの輸入元であり、今後も FTA を通じてさらなる輸出の活性化が期待される。

カシューナッツを取り扱う国内の上場企業では、食品大手のパングループ (PAN) 傘下の Long An Food Processing Export JSC (LAF) や、果物やドライフルーツやジュースといった加工品を手掛ける NAFOODS GROUP JSC (NAF) が挙げられる。

ベトナム政府は 2030 年までに農産物の加工分野で世界トップ 10 入りを目指しており、食品加工メーカーは成長の恩恵を享受すると思われる。

ベトナム産カシューナッツの
主な輸出先 (2020年)



出所：国家統計局 (GSO)



地元スーパー (WinMart) のナッツコーナー、お酒コーナーの近くに配置されており、充実の品揃えとなっている。JSI 撮影



LAF (左)、NAF (右) の会社紹介。出所：各企業の YouTube 公式ページ

ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。